（６）～農業やるなら栃木県～の実現に向けて

〔栃木県農業振興計画2026-2030「とちぎ農業未来共創プラン」〕

農業者が急速に減少していく中、本県農業を持続的に発展させていくため、今後５年間の農政の基本指針となる栃木県農業振興計画「とちぎ農業未来共創プラン」を策定しました。

将来像として掲げた**「担い手と地域が元気に輝く栃木の農業　～農業やるなら栃木県～」**の実現に向けて各種施策に取り組んでいきます。

〔令和７（2025）年度の主な取組〕

① 次期農業振興計画の検討

「とちぎ農業未来創生プラン」が令和７（2025）年度で終期を迎えることから、次期農業振興計画を策定するため、本県農業を持続的に発展させていくための施策の検討を進めました。

② 栃木農政審議会の開催

次期農業振興計画の策定について、農業者や市町、農業団体、消費者団体、市場関係者など有識者等で構成する農政審議会に知事から諮問を行い、計画案に対して答申をいただきました。

③ 各種方針等の策定

本計画に基づく施策を着実に推進していくため、農業農村整備の施策の方向性を示した「栃木県農業農村整備推進計画」や、戦略的な輸出拡大に向けた「栃木県産農産物輸出促進方針」など、各分野における取組事項を定めた方針等を策定しました。



栃木県農政審議会



答申書の手交